

北上市地域教育力向上推進計画の概要

第1章 計画の策定にあたって

【地域教育力とは】

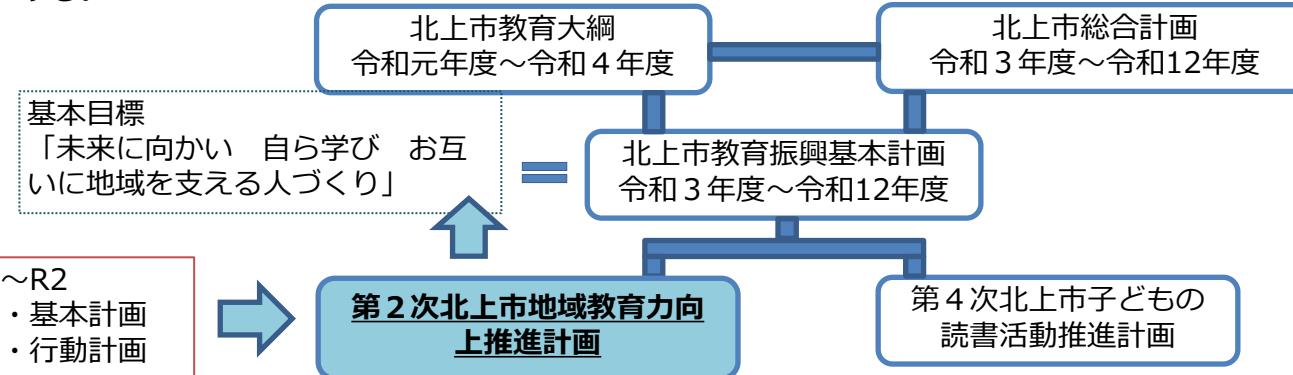
- 地域教育力の定義
地域の人才、施設、自然環境、地域行事等を生かしながら地域社会全体で子どもたちの学ぶ力を育していく力
- 地域教育力の考え方
子ども、家庭、地域、学校、行政の5者がこの学ぶ力を育むことで、子どもたちの心や力が養われ、これからの社会変化に対応するために必要な生きる力が育まれる

【策定の趣旨】

- 子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、子どもたちが調和のとれた社会人として成長するためには、学校教育だけではなく、家庭や地域社会の中で生活習慣や規範意識を身に付け、家庭や地社会域全体で子どもたちを育てていくことが必要
- 北上市地域教育力向上推進計画（平成25年度：第1次基本計画策定、平成26年度：第1次行動計画策定したもの）を令和3年度から一本化するものは、子ども、家庭、地域、学校、行政の5者が果たすべき役割や目標を明らかにし、地域のさまざまな資源を生かした取り組みを行なながら、地域教育力向上に取り組む計画

【推進計画の位置づけ】

北上市総合計画における基本目標「ひと」に関する教育施策に沿い、その具体的な内容を示すと共に、北上市教育大綱の理念を実現しようとする北上市教育振興基本計画を上位計画とした個別計画の一つで、第4次北上市子どもの読書活動推進計画等関連計画と整合性を図りながら実施する。



【計画期間】

令和3年度から令和7年度までの5カ年

第2章 地域教育力をめぐる環境

【子どもたちを取り巻く環境】

- 岩手県の中高生の子どもをもつ保護者の約6割が家庭の教育力が低下しているとの認識
- 国際化が進展している中、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくためには、自国や地域の伝統・文化についての理解を深め、尊重する態度を身に付けることや郷土を愛する心を育むことが必要
- 高度情報化の進展に伴う、携帯電話やスマートフォンなどICTの利活用が広がっていることから、情報化社会への対応が必要

第3章 地域教育力向上の基本的な考え方

【5者の役割の実践】

地域教育力向上においては、5者がそれぞれの役割を果たすことが重要であることから、5者が担う役割の基本的な考え方や、基本的な施策に取り組む

《子どもの役割》：生きる力を身に付け、未来の地域の担い手となる

- ・広い知識、豊かな心、健やかな体を養う
- ・地域を大切にし、地域行事に参加する

《家庭の役割》：生活に必要な生活習慣を身に付けさせ、自立心を育成する

- ・「子どもの育ち」について関心を持つ
- ・学校や地域との連携を図る

《地域の役割》：豊かな人間性や社会性を育む

- ・さまざまな体験活動や学びの場を提供する
- ・学校と連携・協働し、子どもたちの成長を支える

《学校の役割》：地域社会と連携し、智・徳・体の向上を図る

- ・地域の人才や施設、自然環境、地域行事などを活用し、知・徳・体の向上に努める
- ・家庭と地域との連携を強化する

《行政の役割》：情報の共有化、人材育成などを支援する

- ・家庭、地域、学校間の連携を促進する
- ・体験学習の機会を提供する

地域と学校の連携・協働の充実

北上市が目指すコミュニティ・スクールに取り組み、地域と学校が連携・協働し一体となって子どもたちの成長を支える

第4章 地域教育力向上の重点施策の展開

1. 早寝・早起き・朝ごはんの推進

- 家庭における食事、睡眠などの乱れを個々の家庭や子どもの問題として見過ごすことなく、地域社会全体の問題として子どもの規則正しい生活習慣の確立を目指し、生活リズムの向上を図るため関係機関と連携し、小中学校の長期休暇等に合わせて啓発活動を行う。

2. 「情報メディアとの上手な付き合い方」の推進

- 情報メディアと上手に付き合うことができるよう、関係機関と連携し啓発活動を行う。
- 「ノーメディアデー」等の取り組みを検討

3. 地域の特色を生かした実践活動の成果の共有

- きたかみ地域教育力向上フォーラムを開催し、市全体で地域教育力向上の取り組みを共有し、地域教育力向上の取り組みを広げる。
- 北上市の目指すコミュニティ・スクールの推進を順次展開

4. 「北上っ子5つのやくそく」の推進

- 地域社会全体が一体となって行なうことで、本計画の「子どもたちが目指す姿」を育む。
- 家庭、地域、学校、行政の連携を図りながら、ポスター・チラシの配布を行う。

5. 子どもの読書活動の推進

- 第4次北上市子どもの読書活動推進計画の推進

第5章 計画の推進体制と進行管理

北上市地域教育力向上推進委員会を中心として、毎年度の進捗管理を行う。